

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校 岡山市立高島小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒703-8203

岡山県岡山市中区国府市場131

E-mail takashims@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~takashims/

幼児児童生徒数 男子 497名 女子 521名 合計 1018名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

高島中学校区は、豊かな自然に囲まれ、多様な生物が生息している。一方で、学区内に住宅団地の造成、個人住宅の建築が進み、人口も著しく増加している。こうした中、自然や生き物の生育環境を守りながらどのように開発を進め、生活を豊かにしていくかということが、地域の課題となっている。

本校では、生活科や総合的な学習の時間を中心として、児童が地域の方と関わりながら高島地域が持続発展する可能性について多面的・総合的に考えることを目標として①環境プロジェクト、②郷土愛プロジェクトの2つのプロジェクトを立ち上げ、ESDに取り組んでいる。

1. 環境プロジェクト

①第1学年「季節と遊ぼう」（5月～2月）

7月、育ててきたアサガオの花を摘み、色水を作った。また、あさがおの花や葉で押し花（葉）を作り、他の花（葉）でもできるのかなという疑問をもち、校庭の花で調べながら押し花や色水づくりを楽しんだ。

②第1学年「生き物となかよし」（9月～10月）

9月に学校のそばの空き地に虫を探しに行き、捕まえた虫をグループごとに世話をしてみた。それぞれの虫にあったすみかを自分たちで工夫してつくったり、えさを持ち寄ったりして観察をした。また、大切に世話をしてきた虫を図画工作科の時間に絵で表現することで、より生き物に愛着をもつことができた。

③第2学年「生き物となかよし大作せん」（6月～7月）

児童がグラウンドにいる生き物を探し、身近な場所でも多くの生き物を見つけることができた。生き物に触れることが得意でない子どもも、触れることができる友達に目の前で生き物を見せてもらうことにより、生き物をより身近に感じる事ができた。どのような生き物が自分たちのまわりにいるのか、どのような姿をしていたかななどをカードにまとめて知らせた。

④第3学年「すてき発見！高島学区」（4月～7月）

学区にある「ホタルの里」に行き、ホタルの住みやすい環境を実際に見た。また、「アユモドキ」も生息している「アユモドキの里」やおいしい水として有名な「雄町の冷泉」のある「アクアガーデン」を探検して、地域の人々が自然を大切にしていることを知った。

⑤第4学年「たかしまクリーン大作戦」（4月～7月）

通学路や家の周りのごみ調べを行った。そこから、学区のごみの多さに問題意識をもち、自分たちができることとして、学区のごみ拾いや、ごみ削減を呼びかけるポスターの作成など、ごみをへらすための活動を実践した。

⑥第5学年「高島の自然は大丈夫？」（4月～11月）

国の天然記念物であるアユモドキの人工繁殖と世話をを行いながら、生態や環境、それらを守るための地域の方々の取り組みや思いを調べた。学習した内容をふまえて、自分のできることを考え環境保護の活動を実践した。今年度は放流や宮島水族館への贈呈式も行った。

2. 郷土愛プロジェクト

①第1学年「むかしからのあそびをしよう」（10月～12月）

クラスを解体し、自分が挑戦したい昔あそびを決めて地域の名人さんから教えてもらった。会の中で地域の名人さんと言葉を交わし、楽しみながら教えてもらう姿が多く見られた。その後、ミニ先生となり、教えてもらったことを友だちに伝えたり上手にできるよう練習したりした。普段使わない手先や指先を使っの遊びは、簡単にはできないが面白いと感じ、夢中になって練習していた。教室に、道具を常時置いておき、自由に練習する環境を設定し、学習発表会で上達ぶりを保護者に披露した。

②第2学年「どきどきわくわくまちたんけん」（4月～6月，10月～11月）

公民館長さんから，どのように高島公民館が地域の方々から使われているのか，利用状況，利用の仕方などについて教えてもらった。また，たくさんの講座を見学したり，講座に参加されている地域の方からお話を聞いたりした。地域のみんが利用する施設のひみつを見つけたり，きまりを学んだりし，自分や他の友達が正しく使うことができるように，カードにまとめ知らせ，発表を行った。

③第3学年「すてき発見！高島の名人さん」（10月～2月）

一回目には，高島学区にお住まいの名人さんをお迎えし，それぞれの技を見せてもらった。二回目には，グループに分かれ実際に名人さんに技を教えて頂きながら交流をした。三学期には，グループごとに，教えて頂いた技を保護者や他のグループの人に紹介する発表会を開いた。また，社会科との関連を図り，3名の講師の方をお迎えして，昔の暮らしについて紙芝居やパワーポイント等を用いながら話をしていただいた。

④第4学年「ともに生きる」（9月～12月）

高齢者体験や，アイマスク体験，地域の高齢者施設訪問などの体験活動を行った。様々な障害に関して，詳しく調べ，そこから自分たちが出来ることは何かを考え，グループでまとめ，発表した。

⑤第6学年「日本の伝統文化を体験」（11月～12月）

日本に古くから残る伝統文化について調べたあと，実際に自分が体験したいコースごとに分かれ，伝統文化体験を行った。ゲストティーチャーの方々には，箏・尺八の演奏の仕方や，華道・茶道の作法などを教えていただいた。その後，学習したことを伝えるために，調べたことや体験で学んだことをクラスで発表したり，新聞にまとめたりした。



1-⑥の写真



2-②の写真



2-④の写真

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

第4学年…福祉に関する書籍（点字や盲導犬，車いす等）
第5学年…アユモドキに関する資料（岡山市教育委員会文化財課，NPO 法人岡山淡水魚研究会より配布）
第6学年…伝統文化に関する書籍（華道，茶道，ご殿まり，箏・尺八，鼓）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

第1・2学年では生活科の学習、第3～5学年では総合的な学習の時間を中心にユネスコスクールとしての活動を行っている。加えて第3～5学年では、総合的な学習の時間での学びと、社会や理科など他教科での学びとを関連付けながら学習を進められるように、教科横断的な指導計画の立案も行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学期末や年度末に各学年の総合的な学習の時間の担当者が集まり、今年度の年間指導計画の内容や活動内容について見直し、良かった点や反省点、改善案などを話し合う場を設けている。また、詳しい活動内容や作成した資料、活動の様子を撮影した写真など、活動に関する資料を一部残しておく、次年度に引き継ぎができるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教育課程の反省や各学年での振り返りを通して、学校活動の評価（内部）を実施している。今年度は総合的な学習の時間の「各学年の目標が達成できたか」「つけたい力は身についたか」という項目に対し、多くの教職員が「おおむね満足できる」と感じていた。課題としては、「児童の問題意識を継続することが難しかった」という意見が出てきた。そのため、今後はプロジェクトの期間のみの学習で終わるのではなく、継続した意識付けと、長期期間で可能な環境保全のための活動方法を実践することで、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観をより高めていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

活動内容の発信方法としては、保護者への発信、地域住民への発信、ホームページへの掲載が挙げられる。活動内容を外部に発信したことで、学校ではどのような活動が行われているのかということについて、保護者や地域の方々を知ってもらうよいきっかけとなった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)

(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

現在交流している学校以外の団体は、大きく①地域在住の方を中心とした地域コミュニティ、②教育委員会やNPO法人等、の2つの団体に分けられる。総合的な学習の時間を中心に、第3学年・第4学年では地域の方々、第5学年・第6学年では地域の方々や、岡山市教育委員会文化財課、NPO法人岡山淡水魚研究会の方々と連携をとりながら活動を進めている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

今年度は国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワークの形成は実施していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

環境保全や共生社会といった世界的規模の課題を、自分達の住む地域に焦点をあてていくことで、児童にとって身近な問題として意識付けることができた。そのため、「自分たちにもできることがある。」という実感をもって活動することができた。また、自分たちの住む地域の問題について考え、実践していくことで、地域への愛着心や地域の一員としての自覚、自然や他者との共生を目指す意識や実践力など、児童の生きる力が高まった。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

平成29年度に引き続き、①環境プロジェクト②郷土愛プロジェクトの2つのプロジェクトを柱として活動を考えている。

(1) 環境プロジェクト(1年・2年・3年・4年・5年)

学区探検に出かけたり、ゲストティーチャーから生き物について学んだりすることを通して、自然に親しみ、それを守るために自分たちにできることを考え、実践する。

- ①第1学年「季節と遊ぼう」「生き物となかよし」
- ②第2学年「生き物となかよし大作せん」
- ③第3学年「すてき発見!高島学区」
- ④第4学年「たかしまクリーン作戦」
- ⑤第5学年「高島の自然は大丈夫?」

(2) 郷土愛プロジェクト(1年・2年・3年・4年・6年)

ゲストティーチャーと一緒に伝統文化体験や史跡めぐりをして、コミュニケーション力を養うとともに、学区を愛し、誇りに思う気持ちや地域の一員としての自覚を高める。

- ①第1学年「むかしからのあそびをしよう」
- ②第2学年「どきどきわくわくまちたんけん」
- ③第3学年「すてき発見!高島の名人さん」
- ④第4学年「やさしさの輪を広げよう」
- ⑤第6学年「高島再発見!」「日本の伝統文化を体験」